十勝毎日新聞
2010年（平成22年）10月3日 日曜日
発行所：十勝毎日新聞社
〒080-8688
帯広市東1条南8丁目
電話(代表)0155-22-2121

あすの帯広　最高気温 18℃　最低気温 12℃
6～12時　12～18時

きょうの紙面

町民栄誉賞たたえる石碑　21
幕別　幕別町百年記念ホール敷地内に建立した、町民栄誉賞受賞者をたたえる石碑が3日、お披露目された。受賞者の高木美帆さんも出席。

年間電力の2割をカバー　19
太陽光　白人小と幕別中に太陽光発電システムが設置された。年間使用電力の2割程度をカバーする見込み。子供たちの環境教育などにも活用へ。

団体・個人戦も帯農勢活躍　14
柔道　柔道の全十勝高校新人大会。男子団体戦は帯農が7連覇、同個人戦も66キロ以下級を2連覇した齋藤貴裕ら帯農勢が5階級を制した。

訪日旅行控える動き　4
中国　中国側に、訪日旅行を控える動きがある。消費が旺盛な中国人観光客への期待が増す中、日本政府関係者は「非常事態だ」と危機感を募らせる。

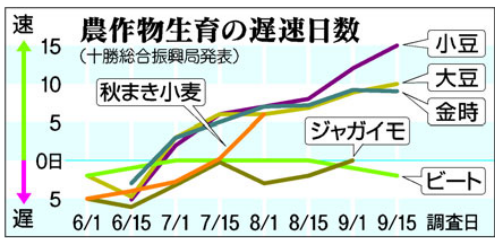
ミロ展　北海道立帯広美術館　好評開催中!

テレビ・芸能　6、7、9、22
郷土作家アンソロジー　8
スポーツ　10～14
せいかつ掲示板　16
ライフ（生活）　17

猛暑直撃、減収要因に

今年の十勝の畑作

今年の十勝の畑作は終始、天候に泣かされた。春は低温と降雨、夏は一転して想像以上の猛暑となり、小麦やジャガイモは不作に。生育が平年より半月早くなった品目もあるが、その分、成熟する時間が足りなかった。昨年の冷湿害、今年の高温と2年連続で農家は悩まされた形。来年産に向けては、適期に播種（はしゅ）し寒暖リスクを最小限に抑えたり、土づくりで気温の変化を緩和させるなど地道な対策が重要になる。



寒暖リスク対策へ 土づくり重要

「今年は最悪。経費をかけて追肥し、高収量、高品質の麦を目指したのだが…」

帯広市内の農家（37）は肩を落とす。秋まき小麦「ホクシン」は通常年より2割減収、10アール当たり8俵（1俵当たり60キロ）の収穫にとどまった。

歩留まり6割に

小麦は収穫後、農協で乾燥・調製される。この農家の「ホクシン」は平年なら、収穫量のうち規格内に収まる量は9割以上。しかし今年の歩留まりは6割で、販売できるのは結局4・8俵となった。「これなら経費や手間をかけずにやった人と変わらない」と語り、努力が報われずやるせなさを感じている。

減収の原因は猛暑。帯広測候所によると、秋まき小麦の開花期に当たる6月下旬の帯広の平均気温は平年より5・4度高い21度。35度以上の猛暑日もあった。「暑くても開花期に晴れれば小麦は取れる」と当初は好意的に見られたが、実が太る登熟期間（小麦は7月中旬まで）も高温が続き、通常より早く熟して「細麦」になった。

例年より少量の小麦が貯蔵されているサイロ（JA帯広かわにし西帯広事業所で、金野和彦撮影）

農作物の生育状況を調査する十勝農業改良普及センターの友成公主任普及指導員は、「減収要因が低温というのはあるが高温というのは聞いたことがない」と漏らす。

熟す期間が短く

小豆や菜豆も登熟期間が極端に短く、小粒傾向に。十勝農業試験場（芽室町）の畑の登熟期間は、「エリモショウズ」で平年より15日短い44日、「雪手亡」で9日短い52日、「大正金時」で7日短い49日で登熟した。秋まき小麦「ホクシン」も9日短い37日間。飯田修三作物研究部長は「開花後は実が大きくなる時期。収量を左右する時に暑ぎた」とする。

春の低温も影響

根物のジャガイモ、ビートは春の低温と夏の高温の影響を両方受けた。ジャガイモは根が張る春の低温でイモの数が少なく、夏は夜の気温が下がらず作物の呼吸にエネルギーを取られイモが大きくならなかった。夏の高温で急激に生育したイモは中心部が空洞になったり、いびつな形になった。ビートもイモと同様で、今年は褐斑病も多発、収量減が予想される。

結局、熟す時期が遅い大豆だけが平年作以上が見込まれている状況。寒さが早く訪れる十勝では早生や中生品種が多く、暑い年が周期的に訪れるとなれば、空知や道南の晩生の品種を導入するなど対策を講じることもできるが、天候は読めないのも実態だ。

ジャガイモについて同農試の松永浩研究主査は「堆肥（たいひ）を入れるなど有機質の多い土づくりが大事。土の水持ちを良くして温度変化の緩衝材となるようにしてほしい」と強調。飯田部長は来年に向けて、「冷夏、猛暑でも大損しないよう平年通り、冷静に作業を進めること」と話している。（関坂典生）

プリズムとかち

「赤」「白」片手に牛の丸焼き堪能

池田・ワイン祭り

【池田】「第37回秋のワイン祭り」（町観光協会主催）が3日午前10時から、ワイン城横のイベント広場で開かれた。正午までに管内外からの観光客ら約4200人が来場し、十勝ワインと焼き肉を存分に味わった。

食べ放題の道産牛肉計1・3トンが炭火で焼かれ、飲み放題の十勝ワイン（トカップ）が用意された。町商工会青年部員たちが午前0時から夜通し焼き上げた名物の牛の丸焼きには、開場と同時に長い行列ができ、肉の塊が切り取られると「おいしそう」と期待の歓声が上がった。

ステージでは初登場の池田高校吹奏楽部が元気良く演奏を披露し、ワイン飲み当てコンテストなども盛り上がった。釧路市から友人と家族の7人で訪れた佐藤礼子さん（61）はワイン祭り来場3回目で、「みんなを連れてきました。肉はおいしいし、十勝ワインも好き。魅力が多いですね」と笑顔で話していた。（小林祐己）

十勝ワインと焼き肉を楽しむ家族連れらでにぎわった秋のワイン祭り（3日午前10時40分、塩原真撮影）

福島、大会新で初V

国女子100体

【千葉】第65回国民体育大会・ゆめ半島千葉国体2010は2日、千葉県内各地で第8日の競技を実施。陸上競技は千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で行われ、成年女子100メートルで福島千里（北海道ハイテクAC―帯南商高出）が自身の日本記録（11秒21）に迫る11秒26（追い風0・5メートル）の大会新記録（従来は11秒58）を樹立し、同種目初優勝を飾った。福島は昨年の成年女子200メートルに続き2年連続の国体制覇。（高橋宏幸）

（14面に関連記事）

【成年女子100メートル・決勝】11秒26の大会新で優勝し賞状を手に笑顔を見せる北海道・福島千里（大賀章好カメラマン撮影）

中川賢一氏 道1区に出馬

次期衆院選 みんなの党

中川賢一氏

7月の参院選道選挙区で落選した元道職員の中川賢一氏（43）が、次期衆院選道1区（札幌市中央区・西区・南区）にみんなの党から出馬する意向を持っていることが3日、分かった。中川氏は中川義雄元参院議員の長男。

中川氏は十勝毎日新聞の取材に対し、「世界に市場を広げる強い北海道経済を目指し、それが可能な規制改革を行いたい。国の中央集権の形を見直し、地方が多様な形で成長できる環境を整備したい」と話した。既に党本部にも出馬の意向を伝えている。

参院選落選後も国政を念頭に政治活動を続ける考えを示しており、道5区の衆院補選や父の地元の道11区（十勝）も検討したが、中川氏は「小・中・高と私が一番長く生活した中央区が現時点では一番適当」と判断したと語った。

中川氏は1967年札幌市生まれ。札幌南高、東北大卒。北海道拓殖銀行に入行後、道庁入り。今年5月に退職し、参院選道選挙区にみんなの党公認で出馬した。（安田義教）

編集余録

細菌の進化か

子供のころ、世界は核によって滅ぶと信じていた。映画「渚にて」（ネビル・ショート原作）を見て強烈な印象を受けたせいだった。いまだに危機は取り除かれていないが、映画で題材となった第3次世界大戦は起こる気配はなく、安堵（あんど）している▼次に人類は感染症によって消滅するかもしれないと思うようになった。人類は一時感染症を克服し、病気から解放されると信じるに足る科学的な成果を遂げた。ワクチンの開発、次々と進化する抗生物質の生産は私たち獣医療に従事する技術者にも朗報をもたらした。しかし、ロバート・タイン原作「アウトブレイク」の映画はこれが幻想にすぎないことを示すものだった▼映画に出てくる病原菌は架空のモターバウイルスであるが、エイズやエボラ出血熱は動物から人へ、また逆に人から動物へと姿を変えながら生き続け、一度人間が感染すると体内で驚異的なスピードで増殖し、強い感染力と致死率をもたらす▼そして今度は、〈多剤耐性菌〉アシストバクターの脅威にさらされている。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）の出現は記憶に新しい。これには抗菌剤の奥大（ばくだい）な使用量が関係しているといわれている▼獣医療の立場からは、動物を病気から守り、健康を保つために抗生物質のみに頼らない予防獣医療（プレコーション）の確立が求められる。（三宅陽一）

2010.10.3

■配達/購読に関するお問い合わせは 0120-25-3999
■ニュース速報は携帯サイト「かちモバ」 http://kachimai.mobi/
■十勝毎日新聞社ホームページ http://tokachi.co.jp/
○編集局/22-2121 ○広告局/23-2323 ○事業局/22-7555 ○販売局/24-2222

大好評につき期間延長!! 10月末まで
広告の品が安い店はたくさんあります。売鮮市場テキサスは店全体が安い。エブリデイロープライス（毎日が安い!!）
現在、お客様に喜んでいただけるサービスを考察中です。
まずは、店に来ていただいたお客様へ感謝を込めてプレゼントしております!ぜひ、お越しくださいませ。
毎週 月～木 1,000円以上お買い上げの方
たまご（6個入・先着100パック）
食パン（本食6枚入・先着100パック）
毎日先着200名様 どちらか1点プレゼント!!
売鮮市場 テキサス
帯広市西20条南2丁目 ☎35-8080
夜7時までの営業

Mercedes Benz
Premium Used Car
プレミアム ユーズド カー
全国のメルセデス・ベンツ ディーラーサイトより
お好みの1台をお探し安心整備とともにあなたにお届け致します。
セダン　ステーションワゴン　クーペ　オープン　SUV　ワンボックス
●お問い合わせは●
☎0155-34-0010（月曜定休）
メルセデス・ベンツ帯広
東北海道ヤナセ(株)
帯広市西13条北1丁目1番地
http://hh-yanase.com